

## 電気電子工学委員会(第 25 期・第 2 回)

### 議事要旨

I. 日時: 令和4年 10 月 24 日(月)16:00~17:15

II. 会場: 遠隔会議(主催会場: 東京大学工学系研究科)

III. 出席者: 中野委員長、中川副委員長、三瓶幹事、金子委員、相澤委員、宮地委員  
浅間委員、大橋幹事

IV. 議事: 都合により、議題の順序を変更して議事を進行した。

(1) 前回議事要旨の確認

資料2に基づき、中野委員長より第 1 回電気電子工学委員会議事録の確認が行われた。

(2) 分科会、小委員会等の活動報告

中野委員長から、URSI 分科会(八木谷委員長)、および電気電子工学委員会・総合工学委員会合同 IFAC 分科会(榎木委員長)の活動報告がなされた。両分科会がそれぞれ担当する国際会議の準備は極めて順調に進んでいるとの紹介があった。

「制御・パワー工学分科会」中川委員長から、今期の活動報告、および来年 3 月に開催予定の、カーボンニュートラルに関する電気学会・自動車技術会との連携シンポジウムについて説明がなされた。

「デバイス・電子機器工学分科会」大橋委員長から、今期の活動報告、および来年に計画している応用物理学会春季学術講演会でのシンポジウム「日本半導体復活に貢献できる人材育成と産学連携」について説明があった。なお、シンポジウムの運営や広報の仕方など、両分科会でノウハウを提供することとなった。

「通信・電子システム分科会」三瓶委員長から、今期の活動報告がなされた。なお今期、シンポジウム開催あるいは、何らかの「意見の表出」を行う可能性があることが示された。

(4) 未来の学術振興構想について

資料4に基づき、中野委員長より「未来の学術振興構想」について、各分科会及び関係学会におけるエントリーの予定について確認があった。電気電子工学関連では、少なくとも 3 件程度が予定されていることが紹介された。

(2) 8月16・17日開催の第三部夏季部会について

資料4に基づき、中野委員長より北海道大学で開催された第 3 部夏季部会の報告がなされた。任命問題や研究力強化などが議論されたが、当委員会メンバー全員が出席していたことから、要点のみが簡潔に示された。

(5) その他

日本のデバイス技術やデバイス産業の現状について、フリーな意見交換が行われた。

**配布資料:**

資料 1 電気電子工学委員会名簿

資料 2 電気電子工学委員会(25期・1回)議事要旨

資料 3 電気電子工学委員会(25期・2回)議事次第

資料 4 第三部夏季部会資料(抜粋)

資料 5 分科会活動報告関連資料

以上